

平成18年度試験研究成果書

区分	普及	題名	平成19年度雑草防除指針に採用した花き除草剤
〔要約〕 ペンディメタリン乳剤（ゴーゴーサン乳剤 30）の除草効果と薬害を検討した結果、実用性が確認されたので雑草防除指針に採用した。			
キーワード	花き	除草剤	雑草防除指針 園芸畑作部 花き研究室

1 背景とねらい

りんどうに対するペンディメタリン乳剤（ゴーゴーサン乳剤 30）の除草効果と薬害を検討する。

2 成果の内容

(1) 除草剤の特性

商品名	ゴーゴーサン乳剤 30
有効成分	ペンディメタリン 30.0 %
試験時名称	ANK-553
殺草作用	生長点の細胞分裂阻害 (非ホルモン系, 吸収移行型)
人畜毒性	普通物
魚毒性	B 類相当

(2) 農薬使用基準

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
りんどう	畑地一年生雑草	萌芽前 (雑草発生前)	200~400 ml/10a	70~150 L/10a	1回	全面土壌 散布	1回

(3) 抑草効果

畑地一年生雑草に高い抑草効果が認められ、抑草期間は 30 ~ 60 日である。通常の散布ならびに倍量散布においても薬害は認められない(表 1, 2)。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 雑草発生前に使用する。
- (2) キク科雑草及びツククサには効果が劣る。
- (3) 土壌が極端に乾燥している場合は希釈水量を多めにするか、降雨後に散布する。
- (4) 過湿時及び激しい降雨が予想される場合は使用を避ける。
- (5) 本剤は平成 18 年 10 月 4 日にりんどうへ登録拡大された。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者
県下全域
- (2) 期待する活用効果
りんどうほ場の効果的な雑草防除が可能となる

5 当該事項に係る試験研究課題

- (850) 畑作物に対する植調剤等の利用法
- (4100) りんどう除草剤実用化試験（平成 16 ~ 17 年 県単）

6 参考文献・資料

平成 16 ~ 17 年度 春夏作野菜・花き関係除草剤・生育調節剤試験成績集録
(財)日本植物調節剤研究協会

7 試験成績の概要(具体的データ)

表1 ゴーゴーサン乳剤30の適用性試験結果(平成16年)

品 種	処理 月日	薬量 ml/10a	水量 l/10a	除草効果 1					総計	抑草 期間 日	雑草 指数 2	薬害 指数 3	評点 4	実用性 の判定 5
				スズメノ テッポウ	スズメノ カタビラ	イヌガラ シ	タネツケ バナ	ハコベ						
ジョバンニ	3/23	無処理		2本 2.9g	8本 0.9g	7本 28g	47本 12g	1本 0.1g	67本 45g					
		200	100	1	0	2	2	0	2	30	2	0	A1	
		300	100	1	0	2	1	0	2	30	2	0	A1	
		400	100	0	0	1	1	0	1	40	1	0	A0	
(倍量試験)		450	100	0	0	1	1	0	1	40	1	0		
		600	100	0	0	1	1	0	1	40	1	0		
		800	100	0	0	0	1	0	1	40	1	0		

表2 ゴーゴーサン乳剤30の適用性試験結果(平成17年)

品 種	処理 月日	薬量 ml/10a	水量 l/10a	除草効果 1				総計	抑草 期間 日	雑草 指数 2	薬害 指数 3	評点 4	実用性 の判定 5
				ヒメイヌ ビエ	タネツケバ ナ	トキワハ ゼ	シロツメ クサ						
ジョバンニ	4/6	無処理		1本 0.1g	101本 27g	1本 0.5g	1本 0.1g	104本 28g					
		200	100	0	1	0	0	1	35	1	0	A0	
		300	100	0	1	0	0	1	40	1	0	A0	
		400	100	0	0	0	0	0	60	0	0	A0	
(倍量試験)		450	100	0	0	0	0	0	60	0	0		
		600	100	0	0	0	0	0	60	0	0		
		800	100	0	0	0	0	0	60	0	0		

1 無処理区は実数/m²、処理区は雑草指数(2)で表示

2 雑草指数

指数	雑 草 の 程 度
0	なし
1	無処理区の1～10%
2	" 11～20%
3	" 21～40%
4	" 41～60%
5	" 61%以上及び無処理区の状態

3 薬害指数

指 数	薬 害 の 程 度
0(無)	薬害は認められない。
1(微)	わずかに葉先の枯れ込みが見られたり、葉色の変化が認められるが、実用的には問題にならないと推定されるもの。
2(小)	1～4の間を2段階に分け、軽度の薬害を2、重いものを3とする。
3(中)	(2、3はいずれも実用上無視できないと推定される程度のもの)
4(大)	枯死または生育停止、回復の見込みのないもの。

4 評点基準

評点	薬害指数	雑草指数
A0	0, 1	0, 1
A1	0, 1	2
B0	0, 1	3
B1	2	0, 1
C0	0, 1	4
C1	2	2
D	その他	

5 実用性の判定基準

評点	基 準
	実用に供しうると考えられるもの
	有望と思われるもの
	結論を出せない、再試験を要するもの
x	実用性がないと考えられるもの